

令和2年度 木古内町当初予算の概要

一般会計は39億8,448万円

4月に町長選挙を控え、当初予算は骨格予算

令和2年度当初予算編成は、小規模多機能型居宅介護施設建設費や橋梁長寿命化工事（中野橋）など、前年度からの継続事業を盛り込みました。

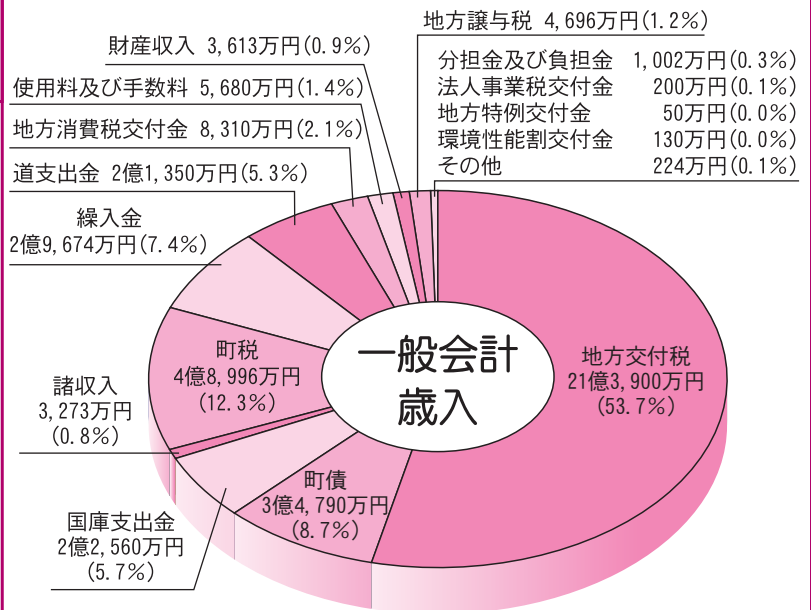
予算の内訳は、一般会計が39億8,448万円で前年比△10.6%、約4億7,189万円の減、各事業会計・特別会計の合計は46億6,421万円で前年比+5.0%、約2億2,410万円の増となっています。

なお、町長選挙を控えているため、一般会計当初予算では、一部を除き新たな政策的経費は含まれていません。

歳入

骨格予算編成のため減額

令和2年度歳入予算は、前年度に港団地建替工事費を盛り込んでいたことや、町長選挙を控え、骨格予算編成になつてきていることから、前年度より約4億7,189万円の減となつています。基金繰入金の総額は、前年度より937万円増の2億9,674万円となつていますが、このうち資金不足を補うための財政調整基金（貯金）の取り崩しは、前年度より400万円多い1億8,481万円となつています。また、町債（町の借金）については、前年度と比較すると2億8,780万円減の3億4,790万円となつています。なお、今年度から、消費税増税に伴い自動車取得税交付金が廃止され、新たに法人事業税交付金が追加されています。

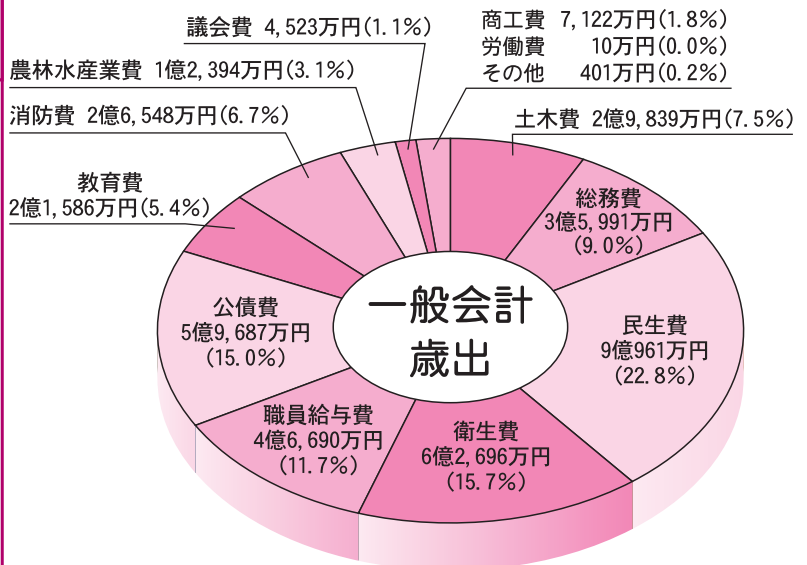


歳入予算額 39億8,448万円

歳出

小規模多機能型居宅介護施設建設費を計上

令和2年度歳出予算は、前年度からの継続事業や、森林環境譲与税交付金を活用した森林整備・林業振興に係る費用などを計上しています。総務費は、町税の滞納管理システム導入費、町長・町議選挙に係る費用などを計上し、前年度より1,406万円の増額となっています。民生費は、小規模多機能型居宅介護施設建設費、成年後見制度利用支援事業補助金などに係る費用を計上し、前年度より1億5,420千円の増額となっています。農林水産業費は、私有林整備事業や今後の林業振興事業に対する基金積立など、森林環境譲与税交付金を活用した費用を計上し、前年度より3,090万円の増額となっています。土木費は、佐女人道橋の評価調査費や中野橋の長寿命化工事費を計上する一方、港団地建替工事費の減により、前年度から6億8,801万円の減額となっています。



歳出予算額 39億8,448万円